

令和3年度 事業計画

I. 基本方針

私たち社会福祉協議会は、地域住民、行政・各種関係機関とともに、ボランティア活動、地域福祉活動を通じ、誰もがいきいき安心して暮らせる「ともに生きる豊かな地域社会」を目指し、つながり作りを進めてきました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の広がり、人と人が互いに距離を取り、接触する機会を減らすことを求めています。このため地域住民等による福祉活動やボランティア活動は休止や延期等活動自粛を余儀なくされました。

この間、閉じこもりによる高齢者の虚弱化の進行、社会的孤立の深刻さ等が増しています。一方、こうした状況は、誰かとつながっていること、誰かを支えたり支えられたりしていることの大切さを私たちに教えてくれました。そして何よりも、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛中でも、つながりをとぎれさせない活動や取り組みを進めることが求められています。

このような中、本会では新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、引き続き「地域福祉計画・地域福祉活動計画」に基づき、人と人とのつながりを大切にしながら、公民協働により地域福祉の推進に取り組んでいきます。

1. 第1層生活支援コーディネーター（市域・1名）に加えて、第2層生活支援コーディネーター（地域包括支援センター圏域・4名）を市より受託し、生活・福祉課題に気づき、共有し、解決につなげていく「地区社協 大和郡山モデル」の取り組みを通して、地域の多様な団体・機関をつなげ、住民主体の支えあい活動を推進していきます。
2. 令和3年4月より成年後見支援センターを開設し、権利擁護支援が必要な人を早期に発見し、適切な支援につなぐことができるよう、権利擁護支援の体制づくりを行い、地域・福祉・医療等の関係機関・団体等と連携しながら、地域連携ネットワークの構築に取り組めます。
3. 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しながら、地域の中でつながりを再構築するとともに、見守り等が必要な方や生活に困りごとを抱える家庭等との新しいつながりを創出する取り組み（フードドライブ等）を行います。
4. 本会の経営基盤安定のため、予算の適正かつ効果的、効率的な執行と経費削減を図り、寄付金や補助金、委託料等の財源確保に努めるとともに、持続可能な財政運営を図るため、財政の健全化に取り組めます。

II. 事業実施計画

〈 社会福祉事業 〉

1. 福祉推進事業

1. 法人運営事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
115,121	153,681	△38,560

組織の健全運営と基盤強化に努めます。

(1) 会務の運営

- ・理事会・評議員会の開催
- ・評議員選任・解任委員会の開催
- ・定期監査

(2) 人材の確保と育成

- ・新規職員採用試験の実施
- ・職員の資質向上のため、職員研修の実施及び参加

2. 広報・啓発事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
1,490	1,694	△204

① 社会福祉大会の開催

社会福祉関係者が一堂に会し、長きにわたり社会福祉活動において、功績のあった方々への顕彰を行うとともに、今後の社会福祉の発展に期することを目的に第43回大和郡山市社会福祉大会を開催します。

② 広報紙の発刊

広く市民に社会福祉協議会事業の啓発を行うため、年2回「社協だより」を発刊し、自主財源確保の一環として新たに「社協だより」に掲載する有料広告を募集します。

また、社会福祉協議会の事業紹介パンフレットを作成します。

③ ホームページ

ホームページの内容を充実させ、新鮮な情報を迅速に提供します。

④ LINE公式アカウント開設

市社協事業やボランティア講座の案内等の情報を発信するため、LINE公式アカウントを開設します。

3. 小地域福祉ネットワーク事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
1,901	1,941	△40

① ネットワーク事業

ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯などの緊急時に備えるため、自宅用と外出用の緊急連絡カードを配布します。

また、民生委員、自治会長など地域住民が主体となり、地域のひとり暮らし高齢者などを訪問したり、声をかけたりしながら、互いに見守りあい支えあって生活できる体制づくりの充実を図ります。

② ふれあいいいききサロン事業

家に閉じこもりがちな高齢者やひとり暮らし高齢者等と地域のボランティアが集会所や自治会館などに集まり、茶話会やゲームなどで楽しく過ごすサロン事業を推進します。

③ ひとり暮らし老人等見守り事業

地区社会福祉協議会の協力員が、地区内のひとり暮らし高齢者宅を定期的に訪問し安否確認等を行います。

【訪問回数】月2回（年間24回）

4. 地域福祉活動推進事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
9,717	10,424	△707

① 地区社協育成費助成事業

各地区社協の運営に対して助成を行います。

② 地区社協推進費等助成事業

各地区社協が実施する事業や地域福祉活動に対して助成を行います。

③ 地区社会福祉協議会連合会の開催

各地区社協における各種事業や地域の福祉問題等についての意見交換を行います。

5. 老人福祉推進事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
7,177	7,237	△60

① 地区敬老会事業

敬老月間において各地区社会福祉協議会で地域住民による趣向を凝らした敬老会を実施します。

【実施予定時期】 9月

② ねたきり老人等紙おむつ支給事業

平成31年3月31日現在での受給資格者に対し、経過措置として令和4(2022)年3月31日まで紙おむつを支給します。

※平成31年3月31日、要綱廃止。

○ 児童福祉推進事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
0	0	0

子育て支援3人乗り自転車貸出事業

子育て多子世帯の経済的負担軽減、外出機会の提供や社会参加による育児不安の解消を図るため、3人乗り自転車の無料貸出を行います。

6. 母子・父子福祉推進事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
735	898	△163

① 母子・父子家庭の集い

母子・父子家庭児童の夏休みの思い出づくりと交流の場として集いを実施します。

【実施予定時期】 7月

② 母子家庭等歳末交流事業

母子・寡婦及び父子家庭の交流の場として、もちつき大会などを実施します。

【実施予定時期】 12月

③ 母子家庭研修事業助成

大和郡山市白百合会が実施する研修事業へ助成をします。

④ 自立支援・指導員研修助成

自立支援・指導員研修への参加事業へ助成をします。

⑤ 母子家庭交流事業助成

大和郡山市白百合会が実施する交流事業へ助成をします。

7.心身障害者(児)福祉推進事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
4,057	5,575	△1,518

① すくすくキッズひろば事業

障害児の余暇活動及び社会参加を促進するため、ドレミひろば（音楽療法）・チャレンジひろば（工作・絵画等）を実施します。

【実施日】 ドレミひろば 毎月第2土曜日
チャレンジひろば 毎月第4水曜日

② 創作軽作業

障害者の社会参加の促進と交流を深めるため、絵画・陶芸・書道・音楽の教室を実施します。

【実施日】 絵画教室 毎月第1水曜日
陶芸教室 毎月第1金曜日、第3月曜日
書道教室 毎月第3水曜日
音楽教室 毎月第2土曜日

③ 手話奉仕員・手話通訳者養成講座

手話奉仕員及び手話通訳者を養成するため、講座を実施します。

【実施予定時期】 《手話奉仕員》入門 5月～9月（全18回）
基礎 10月～3月（全22回）
《手話通訳者》スキルアップ5月～10月（全22回）

④ 在宅障害者交通費補助事業

知的・精神・身体障害者が就労継続支援事業所等へ、通所する際の交通費を補助します。

⑤ 福祉機器貸出事業

旅行やケガで急に車椅子等が必要となった方へ福祉機器を貸出します。

⑥ 福祉サロン（聴覚障害者）

聴覚障害者やその家族、ボランティアが集まり、交流会や学習会等を通じて、情報交換をしたり、悩みを分かち合ったりすることで、互いにつながりを持てる場を作ります。 【実施予定日】 毎月1回

8. 援護事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
73	73	0

社会を明るくする運動事業助成

郡山地区保護司会が実施する社会を明るくする運動事業に対して助成を行います。

9. 福祉団体助成事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
950	950	0

社会福祉協議会と連携し活動している社会福祉関係団体及び支援を必要とする当事者団体の育成と活動を促進するため助成金を交付します。

10. ボランティアセンター運営事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
2,196	2,299	△103

① ボランティアセンター運営

市民のボランティア活動促進を目的に商業施設「アスモ大和郡山」内にボランティアの相談窓口を設置しています。ボランティア相談員が相談に応じ、ボランティア登録・需給調整や情報提供を行い、登録ボランティアのつながりを深めるため、交流会も実施します。また、相談員の資質向上のため、研修も行います。

② 大和郡山市ボランティア連絡協議会活動助成

大和郡山市ボランティア連絡協議会の活動に対して助成を行います。

③ ステップアップ講座

ボランティア活動者を対象に、ボランティアに関する知識・技術を学ぶことにより、資質向上・活動の活性化を目指して実施します。

【実施予定時期】 2月

④ はじめてのボランティア講座

ボランティアに関心のある方を対象に、ボランティア活動へのきっかけづくりとして実施します。

【実施予定時期】 (1) 芸能ボランティア講座 10月
(2) こころのサポーター講座 2月
(3) ボランティアサロン 11月・3月

⑤ 傾聴ボランティア講座

認知症高齢者等の現状を理解し、よい聴き手になるためのコミュニケーションスキルを身につけた傾聴ボランティアを養成します。

【実施予定時期】 10月

⑥ 小学生ふれ愛福祉学習

小学校高学年を対象に、福祉体験や交流を通して、助け合いや思いやりの心を養い、将来のボランティア活動につなげることを目的として実施します。

【実施予定時期】 8月

⑦ 学生ボランティアゼミナール

高校生・大学生を対象に、地域に暮らす障害者について理解を深め、ボランティア活動への参加促進を目的として実施します。

【実施予定時期】 8月

⑧ 災害ボランティアセンター事業

平成30年度に策定したマニュアルに基づき活動できるよう、災害ボランティアセンターの模擬訓練や必要備品の購入等を行います。また、必要に応じてマニュアルの見直しを図ります。

⑨ ふくしの出前講座

地域福祉の推進、障害者理解の促進のため福祉に関する出前講座を実施します。

1 1. 日常生活自立支援事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
900	828	72

奈良県社会福祉協議会の助成を受け、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など、判断能力が不十分なため日常生活を営むのに支障がある方へ、福祉サービスの情報提供や諸手続の援助、それに付随する金銭管理等の支援を行います。

1 2. 生活福祉資金事務受託事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
2,056	1,827	229

奈良県社会福祉協議会の委託を受け、生活に困窮している低所得者世帯及び障害者・高齢者世帯の自立に向けた資金の貸付事務と援助指導を行います。

13. フードドライブ事業（「食」の助けあい活動）

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
44	0	44

地域住民、企業等から食品を寄付していただき、生活困窮者やひとり親家庭、その支援団体等に食品を提供します。

14. 交通遺児奨学資金事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
816	816	0

交通遺児に対して奨学資金を支給します。

【金額(1ヶ月あたり)】小学生 6,000円

中学生 8,000円

高校生 10,000円

大学生・短期大学生・専門学校生 12,000円

15. 重度心身障害児援護資金事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
2,214	4,651	△2,437

重度心身障害児に対して援護金を支給します。

【金額(年額)】 5,000円

16. 善意銀行運営事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
1,029	1,038	△9

善意の金品を受託・管理し、福祉事業に有効活用します。

17. 生活介護事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
17,444	17,838	△394

自立性を高め日常生活を豊かにすることを目的として、重度心身障害者に対して、機能回復・日常生活動作の訓練及び創作活動など実施します。

18. 児童発達支援事業(発達支援センター「めばえ」)

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
74,743	29,174	45,569

療育の観点から個別療育、集団療育を行う必要が認められる就学前児童を対象に日常生活の基本的動作や集団生活に適應することができるよう、その児童の身体及び発達の状況並びにその置かれている環境に応じて適切な指導及び訓練を行います。

また、保護者との相談の場や親子教室と幼児教室を設け、幼稚園や保育園との併行通園を行い、保健センターや中央こども家庭相談センターなど、併せて、専門知識の情報の収集に努め、職員の資質の向上を図ります。

なお、施設改修等の療育環境が整ったことから、今年度は積立資産を他の事業の財源に充当する予算を計上しています。

19. 手話通訳派遣事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
8,033	8,204	△171

大和郡山市より委託を受け、病院や学校などでの聴覚障害者の情報保障のため、手話通訳者を派遣します。

20. 生活支援体制整備事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
33,965	8,000	25,965

高齢者が地域で自分らしく暮らしていけるよう(第1層1名・第2層4名)大和郡山市から委託を受け、生活支援コーディネーターを配置し、住民が主体となって取り組む「支えあい、助けあい活動」の支援、また、その担い手の養成・発掘に取り組みます。

21. 成年後見支援センター運営事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
11,605	0	11,605

大和郡山市より委託を受け、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者などにより生きづらさを抱えた市民の権利を擁護し、安心して地域で暮らしていけるよう成年後見制度に関する相談業務を行います。また、権利擁護に関する機関のネットワークの構築を図ります。

2. 指定管理事業

22. 社会福祉会館運営事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
17,267	16,800	467

市民の社会福祉の増進と福祉活動の育成発展のための活動拠点として、各種団体の交流、研修、ボランティアの養成、福祉情報の提供などを行い、市民の福祉向上を図ります。

尚、今年度より福祉ゾーン利用者第2駐車場の管理を新たに、大和郡山市から受託しています。

23. 老人福祉センター運営事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
37,538	37,905	△367

高齢者の生きがいと健康づくり、レクリエーションや各種教室等による教養の向上を図り、高齢者の憩いの場となることを目指して、老人福祉センターの管理運営を行います。

- 【実施予定事業】 高年者大学 6月開講（全9回）
高年者まつり 9月
音楽健康体操 毎月2回開催（内1回は市主催）

〈 収 益 事 業 〉

3. 駐車場等管理事業

24. 駐車場等管理事業

単位：千円

本年度予算	前年度予算	比較増減
118,721	160,685	△41,964

収益事業として、駐車場3ヶ所・駐輪場4ヶ所の管理運営を行い、社会福祉事業の充実のため、その収益を財源に充てるとともに高齢者や障害者の雇用促進の場として、閉所・機械化など経営資源の選択と集中により効率的な経営を行います。